

第10期根室市総合計画における政策目標

人を育み、文化を創造するまち（政策目標3～教育・文化）

- 将来のまちづくりに夢と希望を抱き、誰もが自分の存在と発信、貢献が他者に認知され、自分がその社会で欠かせない一員なのだと実感しながら、幸せや生きがいを感じることができる「ウェルビーイングの向上」を目指す教育が求められている。
- 社会の変化や将来のまちづくりを見据えながら、持続可能な社会の創り手を育てる教育の充実、家庭・学校・地域が連携して子どもを育てる教育環境の充実、市民一人ひとりの生涯にわたる学習活動の充実や歴史・文化への理解とスポーツに親しむための効果的な施策を推進する。

これら、第10期根室市総合計画に掲げた政策目標の実現に向けて、教育大綱に示す教育理念のもと、3つの方向性を踏まえた施策展開を図ります。

根室市教育大綱の位置づけ

この教育大綱は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3の規定に基づき、本市の教育振興施策に関する基本的方向を示すものであり、第10期根室市総合計画で位置づけた政策目標を実現するための指針として、根室市総合教育会議での協議を経て、市長が定めます。

根室市教育大綱の基本理念

インクルーシブ社会を築く レゴブロック型資質・能力の育成

根室市の教育は、学校教育、社会教育の融合を図りながら、**「インクルーシブ社会」の実現を目指した取組を進めます。**

学校教育においては、児童生徒一人ひとりが、自分に最もふさわしい学び方を自ら選択し、試行錯誤を重ねながら達成感を味わうことができる、レゴブロック型の資質能力を育成する教育活動を推進するとともに、社会教育においては、多様な立場の市民が互いの意見を尊重しながら交流し、受容し合う各種事業の推進など、**インクルーシブ社会の形成、まちづくりの礎に繋がる教育を推進します。**

【インクルーシブ社会を築く教育】

障がいのみならず、人種の別や男女差、性についての自認や指向性、学習の進め方やペースの違いなどを一人ひとりの個性と価値観と認め、自分らしくあるための選択や決定を尊重する教育の実現を目指す。

【レゴブロック型資質・能力の育成】

ジグソーパズルは、一つのピースに正解の場所がたった一つで、その正解を探すものであり、全体の図柄はあらかじめ決められ、自分の世界観をつくりだすことはできないが、レゴブロックは、一つ一つの部品はシンプルであるが、組み合わせることで、宇宙船にも家にも人の姿にもなり、町全体を作り出すことも可能であり、教育行政として、自分で世界観自体をつくりだす「レゴブロック型の資質能力」の育成を目指す。

3つの方向性

1. 一人ひとりの興味関心や発達段階を重視し、**自分自身の選択と決定を尊重する教育**
2. 自分自身がコミュニティに参画し、**意思表示でき、それが尊重される教育**
3. 教師と生徒、地域が**互いに学び合う関係がある教育**